

令和3年8月30日

課外活動団体 各位

学生支援担当副総長  
佐久間 淳一

### 新型コロナウイルス感染拡大にともなう課外活動への対応について

愛知県において、8月27日から9月12日までの期間で緊急事態宣言が適用されています。さらに、従来株に比べはるかに強い感染力を持つデルタ株の蔓延、愛知県の感染者数の爆発的な増加、本学の課外活動の諸団体での感染者・濃厚接触者及び自宅待機者数の増加などを総合的に勘案し、10月からの秋学期開講を支障なく迎えることを目指して、下記のとおり「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）における名古屋大学の活動指針」の課外活動に関するレベルを引き上げることになりました。

については、各クラブ・サークルの構成員に周知・徹底いただくよう、お願いいたします。

### 記

「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）における名古屋大学の活動指針」

## レベル：3「全面活動禁止」

- ◆ 次の期間は、SNS等のオンラインでの活動を除き、普段の練習・活動、対外試合や定期公演会、合宿等の全ての対面での課外活動が禁止となります。
- ◆ また、部室や運動施設を含む全ての課外活動施設の使用を禁止します。
- ◆ 本学の承認を得ずにサークルなどの団体を立ち上げて実施している活動であっても、活動を停止いただくようお願いいたします。

**期 間：2021年9月1日（水）～9月30日（木）**

### 全面活動禁止決定の理由：

これまで、各団体の皆様には感染対策の徹底をお願いし、皆様にもしっかりと守っていただいたおかげで、8月中旬までは課外活動に起因する感染の拡大を防

ぐことができていました。皆様の協力には大変感謝していますが、愛知県における感染者数が急増するのと軌を一にして、学内でも感染者が増加し、課外活動絡みの感染事例も日々報告されているのが現状です。

現在猛威を振るっているデルタ株は極めて感染力が強く、CDC（アメリカ疾病対策センター）によると、感染者1人からうつる人数を示す「基本再生産数」は従来株が2前後であるのに対し、デルタ株では5~9.5で、感染力の強い水痘（水疱瘡）と同程度と言われています。）また、空気感染（エアロゾル感染）の可能性も指摘されています。若年層への感染が急増していることは承知の通りで、若い世代であっても重症化しないとは言えません。

デルタ株の蔓延に伴い、保健所の感染対策も変更されています。名古屋大学を管轄している千種保健センターの指導により、濃厚接触者と認定されなくても、接触プレーの多い運動部やエアロゾルの発生が多くなりそうな部活は短時間でもマスクの着用に関係なく（N95を除く）、濃厚接触に近いと判断され、濃厚接触者と同じように14日間の自宅待機をお願いしなければなりません。その結果、8月中旬から8月末までの約2週間で、課外活動関連では、8団体で陽性者8名、濃厚接触者は約70名となり、陽性者・濃厚接触者を含め自宅待機をしている学生は約250名となっている状況です。

こうした傾向は、ここ数日加速しており、これまでお願いしてきた感染防止対策を徹底するだけでは、この勢いを押し止める見込みが立ちません。大学としては、現状を、学生の皆様の命と健康を守り、教育研究活動を維持していく上で、きわめて危機的な状況にあると考えています。大学では、秋学期からの授業実施をより正常に近づけていくことを目指して、ワクチンの職域接種にも取り組んできたところですが、感染の疑いがあれば14日間の自宅待機が求められる現在の運用も考えると、今、手を打たなければ、秋学期への影響も避けられなくなってしまいます。そのため、苦渋の決断として、秋学期開講までの期間の部活動については全面禁止にせざるを得ないという判断に至りました。

これから秋にかけての期間が課外活動にとって大切な時期であることは承知していますし、活動全面禁止という決定が皆様に多大な影響を及ぼすことについては大変心苦しく思っていますが、感染から自分自身、そして友人や家族を守るためにも、学生の皆様にはこのたびの決定を理解いただくようお願いします。10月以降につきましては、デルタ株が猛威を振るう中で、感染拡大防止と課外活動をいかに両立させていくか、その方策を検討の上で活動を再開したいと思っていますが、今回の全面活動禁止措置の目的は、10月以降の課外活動再開に向けて、感染者増加の連鎖を断ち切ることにありますので、皆様の協力がなければ目的を達することはできません。活動指針を遵守し、9月中は課外活動を全面的に停止するよう、重ねてお願いいたします。